



冬の定番、葉牡丹を飾ろう

園芸よろず相談教室 (12月1日)

島ヶ原会館で、園芸よろず相談教室を開きました。この日は、洋風で明るい雰囲気イメージした冬の寄せ植えとして、葉牡丹やパンジーなど、全部で6種類の色とりどりの花が用意されました。

参加者は、植木鉢から見える花の高さやバランスに注意しながら、講師の指定した配置場所へ順番に花を植えていきました。

講師は参加者の植木鉢を見て回り、アドバイスをしたり質問に答えるなど、熱心に指導を行っていました。



▲新年を迎える素敵な冬の寄せ植えを完成させました。



▲講師は花の咲き方や葉の生え方について説明しました。

城下町を駆け抜けました

2017 忍者の里伊賀上野シティマラソン (11月26日)

ハイトピア伊賀をスタート、上野西小学校をゴールとして、2017 忍びの里伊賀上野シティマラソンを開催しました。この大会では、3km・5km・10kmの部のほか、ハーフマラソン・ファミリージョギングの部の5つの部門に分かれて走ります。

ランナーは、歴史情緒ある城下町や周囲の山々を眺めながらコースを駆け抜け、また、ゴール地点では、仲間や家族からの声援を受けながら、最後まで力を振り絞って走りきりました。



▲スタートの合図で勢いよく走り出しました。



▲地域の人の声に応えながら精一杯走りました。

伊賀の魅力を感じて

第3回伊賀フォトロゲイニング (12月3日)

国史跡旧崇広堂をスタート・ゴール地点として、第3回伊賀フォトロゲイニングが開催されました。

ロゲイニングとは、チームワークや持久力、読図力を必要とする野外スポーツで、制限時間内にチェックポイントを回り得点を競うものです。

参加者はチェックポイントで、ポイントに着いた証明として写真を撮ります。

この日は、県内外から107人が参加し、市内を走りながら伊賀市の魅力を感じていました。



▲チェックポイントで写真撮影をする様子



▲地図を受け取り、回る順番の作戦を立てます。



三重平安閣グループ

伊賀斎奉閣



伊賀市西明寺3214-1

TEL 0595-24-9999

詳しくは二次元コードを読み取りご覧ください

『家族葬会館和ごころ壬生野』平成30年1月オープン

平安会館 斎奉閣

家族葬会館 和ごころ



☎ 22・9636

【問い合わせ】 広聴情報課

【申込期限】 発行日2カ月前

(縦5cm×横9cm)

【掲載料】 1枠・2万円

【発行部数】 毎号約36,000部

有料広告を募集します
広報いが市への広告を募集しています。広報いが市は、市内の各戸へ配布するほか、市ホームページにも掲載します。

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



特産品が盛りだくさん

海の幸山の幸物産まつり 2017 (12月9日)

JA いがほくぶとれたて市ひぞっこ前駐車場で、海の幸山の幸物産まつり 2017 を開催しました。このイベントは志摩市との交流イベントとして開催しており、今年で3回目の開催となりました。

ステージでは、志摩市のじゃこっぺ踊りや伊賀忍者ショーのほか、伊賀流忍者萌えキャラ「伊賀嵐マイ」のイメージソングが披露されました。

このほか、会場では50を超えるブースが出店し、多くの人が伊賀市の山の幸と志摩市の海の幸を買い求める姿が見られました。



◀じゃこっぺ踊りが始まると会場は力強い太鼓の音色に包まれました。



▶大盛況の干物販売ブース

本紙 18 ページの「第 13 回 読書感想文コンクール」について、わかりやすく解説します。



こども広場

「気持ちを書いて伝える」

読んだときの気持ちを
作文にしよう

皆さんは、本を読んだあと、「面白かった」とか「感動して泣いちゃった」という経験はありませんか。また、登場人物に起こる出来事が自分や家族に重なったりすることもありません。そんなときの気持ちを作文にして伝えるのが読書感想文です。

本の内容と気持ちを結び付けよう

教育委員会では、読書感想文コンクールを毎年開催しています。今年度は377点の応募があり、どの作品も一生懸命書いたことがわかる内容でした。

その中から、特に優れた作品30点が表彰されました。それらの作品に共通しているのは、本の内容と、作文を書いた本人の気持ちがいっしょに結びついて書かれているということです。単に本のあらすじを書くことが感想文ではありません。また、感想文を書くときには、決められた原稿用紙の枚数でまとめるようにしましょう。

豊かな感性と言葉の力が身につきます

読書で感じたことを表現して書く読書感想文は豊かな感性と自信を表現して書く読書感想文は豊かな感性と自信

分の気持ちを表現する言葉の力が必要となります。自分がどう思ったのか、どこに心が惹かれたのか、これからどうしていきたいのかを文字にすることで気持ちを整理し、自分の言葉で人に「思い」を伝えることは、将来、とても役に立つ力になります。

いろいろな本を読んでみよう

図書館・図書室にはたくさんのお本があります。読みたい本が見つからないときや、どんな本を読んだらいいか迷ったときは、図書館(室)のスタッフに気軽に相談してみよう。

読書は心を豊かにします。時には人生の道しるべになる本もあります。まずはいろいろな本を手にとってみてください。

登場人物の気持ちを感じて、自分の思いを重ねることは人の気持ちを思いやる力にもつながります。その気持ちが込められた感想文を読んだ人は、さらに感動することでしょう。

「人に思いを伝える。」そう思って感想文を書いてみてくださいね。

【問い合わせ】 上野図書館

TEL 21・6868 FAX 21・8999

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書など

子育て支援・無料相談